

倫理審査委員会議事要旨

1. 日時 令和2年9月17日(木) 15:08 ~ 15:43
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 副院長、薬物依存治療部長、長嶋医師、事務部長、看護部長、
薬剤科長、矢崎外部委員
庶務班長(書記)

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨

課題名① 当院における物質使用障害の重症度規定因子の予測(後ろ向きカルテ調査研究)
(申請者 精神科医師 宮越 恵(新規))

申請者

- 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

- 使用物質、使用開始時期、精神病発症時期が相関があると不安定になるので、使用開始から発症時期までの期間とすればよいと思う。また、使用物質の種類は、ダミ変数を使って数式に組み込んでやれば種類で出来る。

申請者

- わかりました。

委員

- 薬物依存病棟という名称は、昔は使用していたが、最近は使わない方向になっているので可能な限り省いてもらいたい。

申請者

- 別の表現で考えます。

【審査結果】

課題名① 当院における物質使用障害の重症度規定因子の予測(後ろ向きカルテ調査研究)

上記に申請について、課題名及び病棟等の呼び名の修正が確認出来たら承認ということによろしいか。

→条件付承認とする(課題名と病棟等の呼び名の修正が確認できたら承認とする)。

課題名② 時計に関する認知機能検査の解析(後方視的カルテ調査研究)
(申請者 精神科医長 是木 明宏(新規))

申請者

- 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

- デジタル時計とアナログ時計の判読能力に差があるというが、その臨床的に意味するものは何か。

申請者

- 認知症にやさしい時計で何だろう。アナログ時計は昔から使っているが、認知症にいい環境をつくるにはデジタル時計の方がいいだろう思い、この2つの時計を比べてみたいが始まりです。

委員

- デジタルとアナログの検査成績の差と認知症の重さの相関みたいなものを調べるということではないのか。

申請者

- 一番のメインはそこです。認知機能が保たれている人はそんなに差がないが、認知機能が落ちてきている人は差が広がってくると思うので分析を行います。

【審査結果】

課題名② 時計に関する認知機能検査の解析（後方視的カルテ調査研究）

上記の申請について、特に問題がなければ承認ということによろしいか。
→承認とする。

課題名③ コロナ（COVID-19）に関する患者状況の調査
（申請者 精神科医長 是木 明宏（新規））

申請者

- 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

- 高須公園クリニックの患者さんの診療情報を入手するなら、クリニック外に診療情報を出すのに患者さんの同意は取ってあるのか。本来、高須公園クリニックの倫理審査委員会で審査してもらった方がよいのでは。

申請者

- 高須公園クリニックには倫理審査委員会はありません。

委員

- それなら高須公園クリニックの院長から当院の倫理審査委員会に審査依頼をしてもらい、当院から高須公園クリニックに承認書を送付する必要がある。

申請者

- 共同担当者に名前があるが、それだけではダメということか。

委員
○ そうです。施設ごとの倫理審査が必要なので、高須公園クリニックからは当院に倫理審査の申請書を出してもらい、内容については当院と同じでも構わない。

申請者
○ わかりました。

委員
○ あとは、アンケート用紙（高須公園クリニック用）に回答していただき、記載していただいた内容は下総精神医療センターで集計しますと書いてもらえばよいと思う。

申請者
○ 基本的に診断名が確認させていただき、下総精神医療センター送付しますとコメントを入れておきます。

委員
○ アンケート用紙は外来看護師が配るのか。

申請者
○ そういふことになります。当然、こちらでも配ります。

委員
○ 内容を聞かれたらわかる範囲で答えてもよいか。

申請者
○ はい。構いません。

委員
○ 高須公園クリニックは正式名ではないので、相手方に失礼になるので正式名をお願いします。

申請者
○ わかりました。

【審査結果】

課題名③ コロナ（COVID-19）に関する患者状況の調査

上記の申請について、当院の計画書には疑義がないので、高須公園クリニックからの申請書とアンケート用紙を出してもらい追認するという事によいか。
→条件付承認とする（高須公園クリニックからの倫理申請書とアンケート用紙の提出が確認できたら承認とする）。

以 上